

— 県内景気は拡大している —

海邦総研県内景気動向調査(2019年4-6月実績、7-9月見通し)

県内需要だけでなく、海外、県外からの観光客需要の活発さを背景に、今期(4-6月)の県内企業の景況判断 BSI は 4.7 と「上昇」超となっていることなどから、「県内景気は拡大している」※12期連続。

来期(7-9月)の見通しとしては、観光シーズンへの期待も表れ BSI は 19.8 で「上昇」超となっている。県内、県外需要とも引き続き持続し、景気は拡大すると見込まれる。ただ、人手不足が各企業において深刻な課題となっていること、建設に関してはこれまでと比較して民需の伸びに落ち着きが見られ始めたことから、今後の行方を注視する必要がある。

～業種別概要～

観光関連

好調を維持 引き続き、競争激化と人手不足が課題

観光客数が安定していることや、ゴールデンウィークが10連休あったこともあり、観光関連業界全体としてみると、市場は好調に推移している。旅行会社向けの航空券価格に新たな算定手法が導入される予定で、旅行会社は対応を迫られている。

建設・不動産 関連

民間は好調が持続 公共も堅調

建設関連は、官需、民需ともに好調さを維持している。ただ、これまでとは違い、戸建ての着工戸数や賃貸アパートの建築需要が落ち着きを見せている。また、分譲マンションでも即売の物件が減少しているなど、景況に変化も出ている。

食品・消費・ サービス関連

底堅く推移 人手不足と競争激化が継続

全体的には個人消費は底堅く推移している。消費やサービス関連では、引き続き観光客による需要の押し上げがあった。県外大手チェーンの進出や、大規模商業施設の新規出店もあり、店舗間での競争はさらに激化している。

～資本金別・地域別概要～

資本金別・現状判断と見通し

今期の景況判断 BSI は、資本金「5000万円以上1億円未満」(-14.3)を除く、それ以外のカテゴリで「上昇」超となっている。「上昇」超が最も大きいのは「1億円以上」で10.5。来期(7-9月期)は、すべてのカテゴリで「上昇」超の見通しとなっている。

地域別・現状判断と見通し

今期の景況判断 BSI は、北部地域(-14.3)を除く、それ以外の地域で「上昇」超となっている。「上昇」超が最も大きいのは離島地区で36.4。来期(7-9月期)は、すべての地域で「上昇」超の見通しとなっている。

県内企業の景況判断 BSI

■現状と見通し

【実績（2019年4-6月期）】

●全業種の景況判断 BSI（実績）は、4.7で「上昇」超
【見通し（2019年7-9月期）】

●全業種の景況判断 BSI（見通し）は、19.8で「上昇」超

■主要業種別結果

【実績（2019年4-6月期）】

●医療・福祉（-18.8）、飲食サービス業（-7.7）、卸売・小売業（-3.0）は「下降」超。それ以外の業種で「上昇」超
【見通し（2019年7-9月期）】

●すべての業種で「上昇」超の見通し

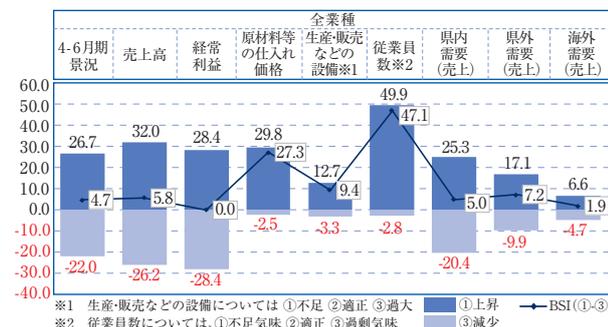
企業の景況判断 BSI(前期比「上昇」「下降」社数構成比)

	2018年		2019年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
全体 BSI	3.4	14.6	5.2	6.3	4.7	19.8
建設業	-6.3	18.2	24.0	-8.0	8.2	19.7
製造業	2.6	15.9	-19.0	19.0	5.3	13.2
情報通信業	-4.5	-5.3	17.6	11.8	0.0	11.8
卸売・小売業	7.9	20.0	-3.3	10.0	-3.0	23.9
不動産業等	11.1	22.2	24.2	12.1	11.8	0.0
旅行・宿泊業	5.6	64.0	-20.8	12.5	20.0	46.7
飲食サービス業	-35.7	0.0	10.0	50.0	-7.7	46.2
医療・福祉	14.3	8.7	-13.6	9.1	-18.8	25.0
その他のサービス業	8.3	-2.9	14.5	2.6	9.6	16.4
資本金別						
1000万円未満	13.6	24.1	10.1	5.6	5.5	20.9
1000万円以上5000万円未満	2.0	10.3	4.8	9.7	8.2	14.0
5000万円以上1億円未満	-7.3	15.8	5.4	0.0	-14.3	26.2
1億円以上	9.5	12.5	5.4	13.5	10.5	26.3
従業員数別						
10人未満	4.1	20.6	12.0	13.3	9.5	20.3
10人以上20人未満	3.0	15.7	6.1	-3.0	8.1	25.8
20人以上50人未満	-3.0	15.9	6.0	4.8	5.1	11.4
50人以上100人未満	7.4	4.2	-6.5	13.0	5.1	25.4
100人以上	1.7	8.8	5.8	15.4	3.3	15.0
地域別						
本島北部地区	5.3	11.1	-6.5	0.0	-14.3	14.3
本島中部地区	0.0	14.2	9.5	8.0	2.8	22.4
本島南部地区	4.8	9.3	15.5	5.2	5.4	14.3
那覇地区	-3.2	7.6	-1.2	8.1	3.2	16.8
離島地区	35.5	53.3	-3.1	0.0	36.4	33.3

全体結果

■4-6月期の現状（1-3月比較）BSI 全体

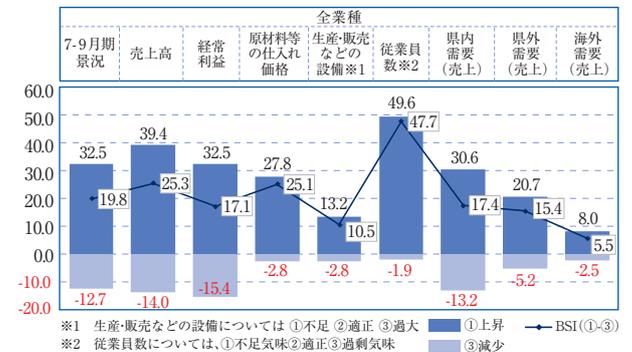
4-6月期の景況 BSI は4.7で、「上昇」超となっている。
ほとんどの項目において「上昇」超となっている中、従業員



員数（47.1）は大幅に「不足気味」超となっている。

■7-9月期の見通し（4-6月比較）BSI 全体

7-9月期の景況見通しは19.8で、「上昇」超となっている。
従業員数（47.7）が「不足気味」超、原材料等の仕入れ価格（25.1）も「上昇」超となっている中、県内需要（17.4）、県外需要（15.4）、海外需要（5.5）がともに「上昇」超の見通しとなっている。

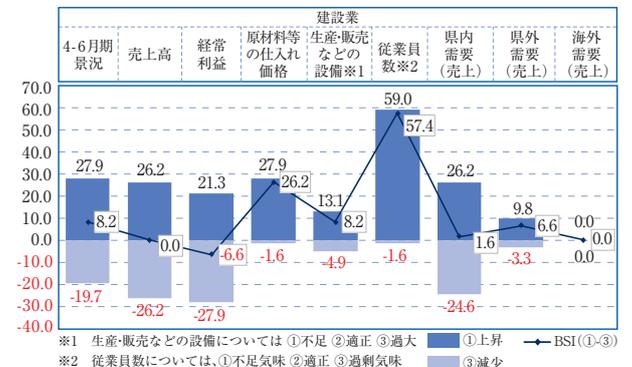


■業種別4-6月期の現状と7-9月期見通し

【建設業】

4-6月期の景況 BSI は8.2で「上昇」超。商品・サービスの販売価格（8.2）、県外需要（6.6）が「上昇」超となっている。一方、原材料の仕入れ価格（26.2）が「上昇」超、従業員数（57.4）は「不足気味」となっている。

7-9月期の景況は19.7で「上昇」超の見通しとなっている。



【製造業】

4-6月期の景況 BSI は5.3で「上昇」超。売上高（18.4）、経常利益（7.9）、県内需要（7.9）が「上昇」超となっている。一方、原材料の仕入れ価格（39.5）は「上昇」超、従業員

